



昭和 100 年，戦後 80 年

校長 芝原 には

7 月 18 日(金) 1 学期の終業式でした。1 学期の登校日数は、75 日。19 人の子ども達は、勉強に運動によくがんばりました。後半になって、暑くなるのが早かったからなのか体調を崩す子が多く、1 学期間の欠席 0 の日は 35 日。欠席の子がいる度に「元気が一番」と、強く感じました。夏休みは健康的で楽しく過ごしてほしいと願っています。

2025 年は、昭和元年から数えて 100 年目「昭和 100 年」です。昭和の始まりは 1926 年 12 月 25 日。1927 年 1 月 1 日からは昭和 2 年になるので、昭和元年はたったの 7 日間しかなかったそうです。さらに、昭和最後の日、昭和 64(1989)年 1 月 7 日でこちらも 7 日間しかなかったのです。すごい偶然ですね。(参照：<https://www.cross-m.co.jp/column/marketing/mkc20250404>)私事ですが、私は採用が昭和 63 年(1988 年)ですので、教員 1 年目の冬休み明け、様々な書類を平成に書きかえたことを覚えています。

昭和と言えば、みなさんはどんなイメージでしょうか。内閣官房「昭和 100 年」関連施策推進室のホームページ(<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/showa100nen/portal/facility.html>)によると、政府は「昭和 100 年」関連施策として



- ①昭和の躍動や体験を発掘し、次世代に伝承していくための施策
- ②昭和を顧み、昭和に学び、未来を切り拓いていくための施策
- ③「昭和 100 年」の機運を盛り上げるための施策

を掲げています。この中の①では、考えられる施策として「高齢化している戦争体験等の語り部の次世代への継承」②では「それぞれの地域における歴史、戦争の悲惨さや苦労、人々の暮らし等を振り返ってそれに学ぶ」とあります。戦争の歴史を語り継ぎ、平和な世界を実現させるには、知恵と努力が必要です。多くの書物や映像に触れ、想像力を働かせる必要があります。実体験していないことにも共感できる感性と「本当にそれでいいのか」と考える批判的ものの見方が重要だと思います。想像力＝創造力なのではないでしょうか。

残念なことに、現時点で世界では、いくつもの紛争や戦争が続いています。校内の七夕飾りの短冊に、こんな願い事がありました。このみんなというのは、「世界中のみんな」ということなのでしょうね。夏休み期間中には、長崎・広島原爆の日、終戦記念日など平和について考える機会が多くあります。ぜひ各御家庭で、親子で、祖父母と孫で、語ってほしいと思います。



<無事故で、健康な夏休みを！>

今年は、全国的に夏前から水の事故が多く発生し、町内では交通事故が多発しているそうです。地域のみなさんも、子どもを見かけたら、ぜひ声かけをお願いします。百日咳など感染症も流行しています。健康管理にも気をつけましょう。

